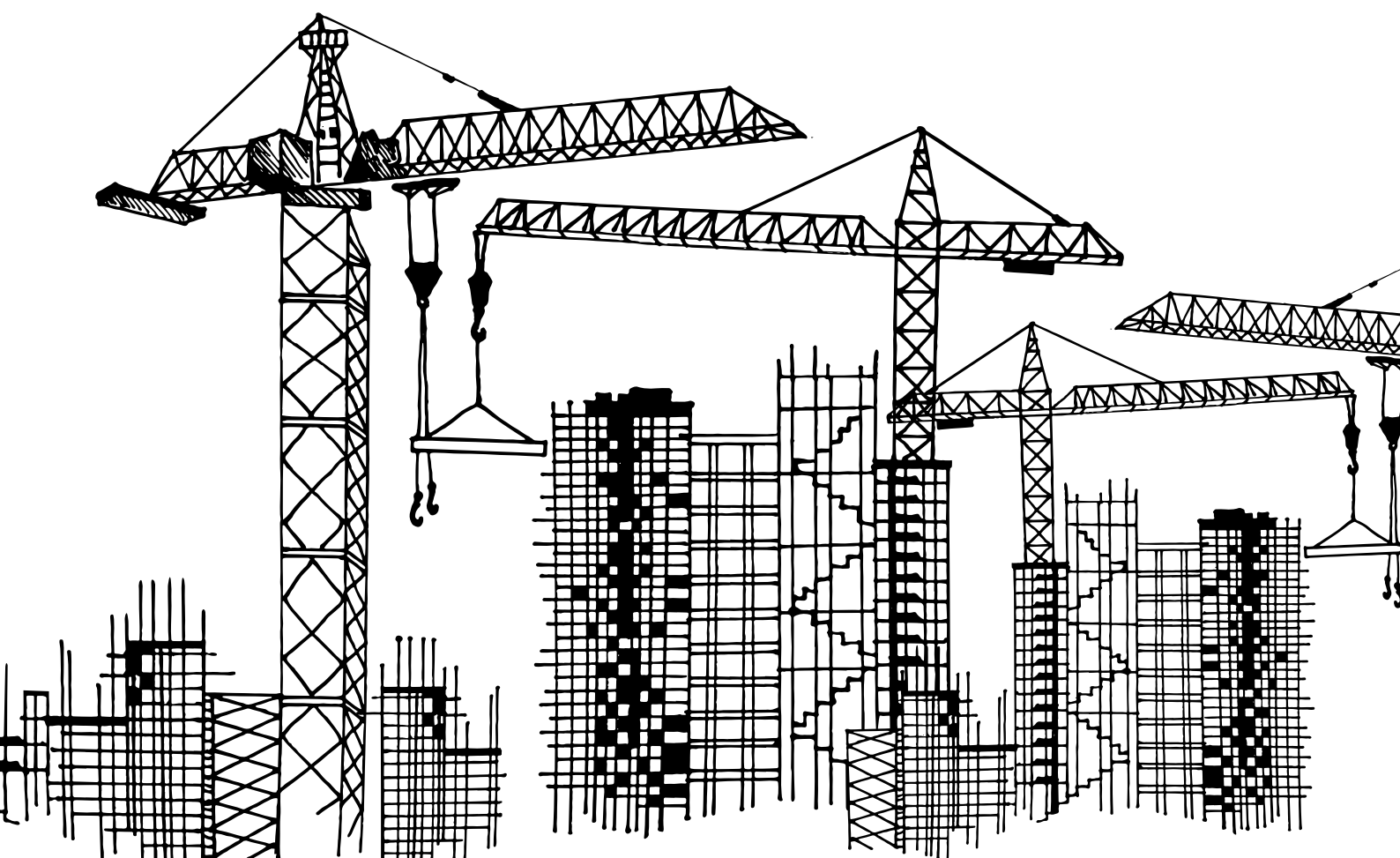


技術提案から安全管理、創意工夫まで
建設現場向け建設気象ソリューション

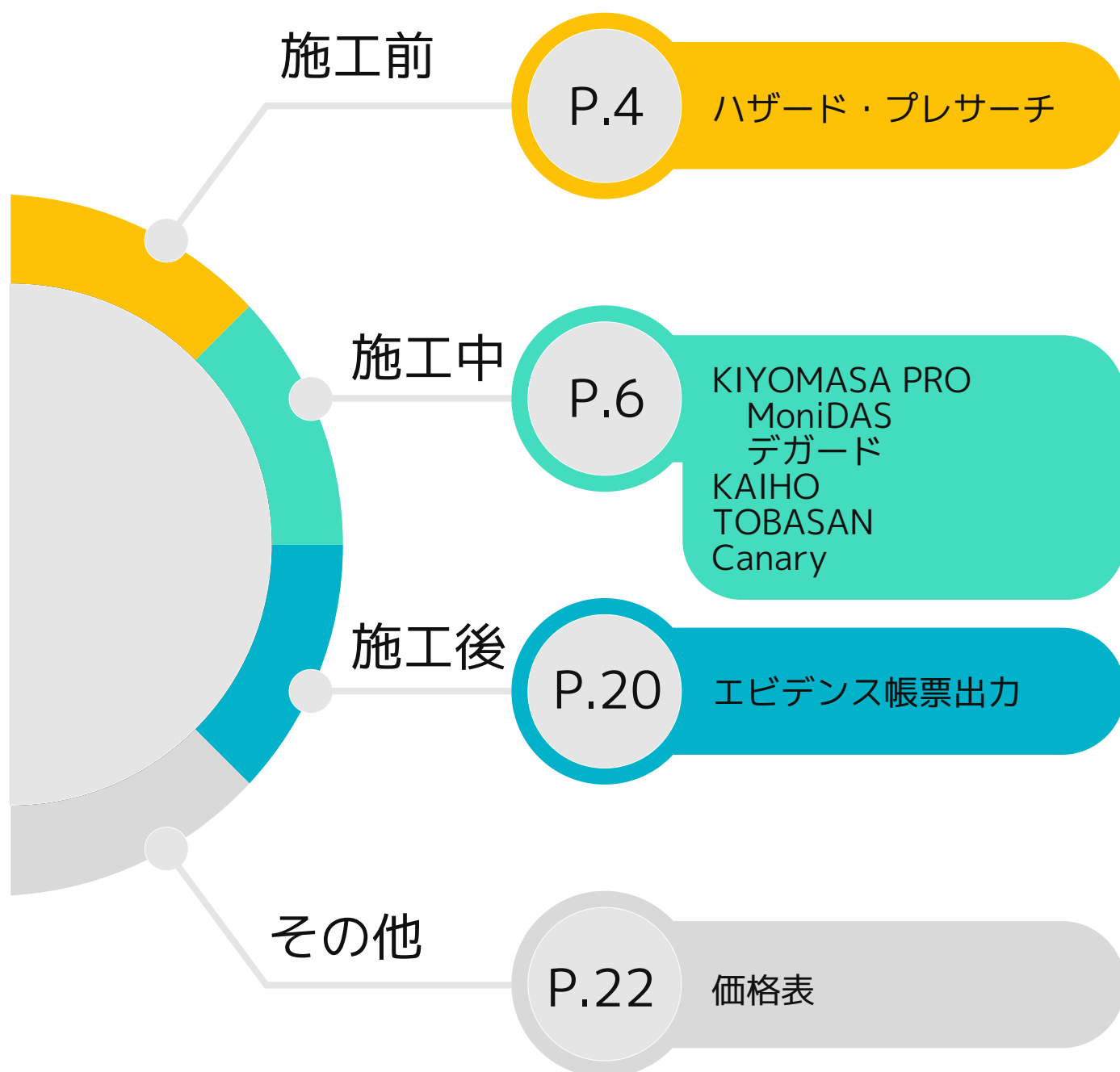
建設気象 総合力カタログ



GRIFFY



弊社の建設気象サービスは 施工前から施工後まで トータルサポート致します



1kmメッシュ独自モデル予測とは

観測値・解析値の収集

気象庁や国土交通省の
観測データを
独自のアルゴリズムで
組み合わせる
解析値データを作成



気象衛星

気象レーダー



観測機



土地利用



予測値を作成

解析値データをもとに
予測値を計算し
予測データを作成

自動予測



予報士による手動補正

独自1kmメッシュ予測

出来上がった予測値を
現場ピンポイントで
提供

現場の真上の情報を提供



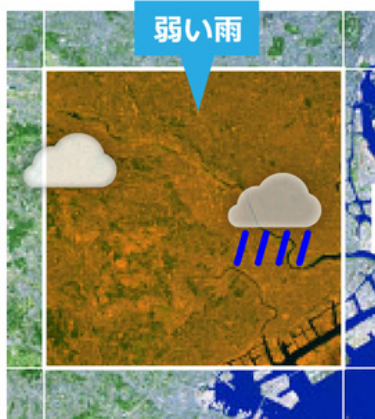
独自の「解析・予測技術」により、1kmメッシュという高解像度の局地予測を提供しています。
この予測をもとに、現場ピンポイントの豪雨予測や高さ別の風速予測など建設現場向けの専用コン
テンツを展開。

アラート機能や警報・注意報の発表など現場の作業可否を判断する「仕組み」を提供しています。

一般的な気象予報との違い

20kmメッシュの場合

20kmで区切った場所の天気を
平均化して予測



1kmメッシュの場合

細かく区切って局所的・正確に・
急な天気変化も予測可能に



テレビやインターネット、アプリなど
で配信されている一般的な気象予測の
多くは5～20kmメッシュの予報が使
われています。

四角ごとに区切った場所の天気や気温
降水量などを平均化して予測するため
局所的な気象変化を捉えることができ
ません。

空間解像度を小さくすることで、ピン
ポイントで正確な予報を提供するこ
とができます。

さらに独自モデルは、観測値を入手す
るたび予測を発表しなおしているた
め、天気の急変にも対応可能です。

ハザード・プレサーチ

ハザード・プレサーチとは

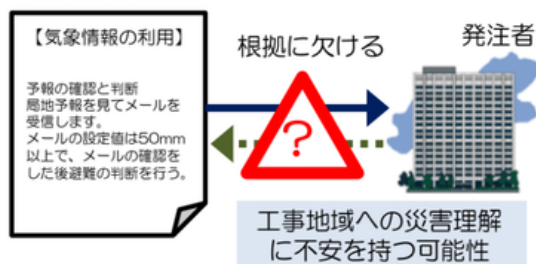
これから工事を開始する現場や施工中の現場の、過去の災害事例や気象特性、異常気象の発生リスクなど、現場の過去気象データを気象予報士が調査・解析しレポートにまとめて提出するサービスです。

技術提案や施工計画の高度なエビデンス（根拠）や、施工中の作業中止基準値の選定材料として活用できます。

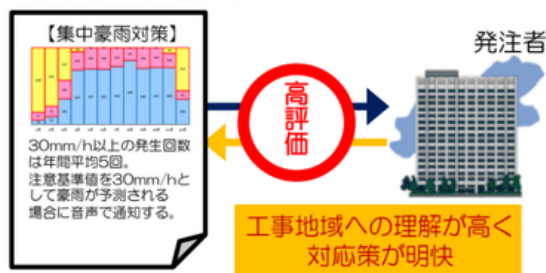
活用メリット

施工計画から周辺住民への説明まで活用可能

これまでの提案・・・



プレサーチを使うと



- 技術提案で、災害や異常気象への対応策提案の根拠資料になる
- ヒアリングや現地調査の前の現場状況把握のための資料として活用できる
- 周辺住民や発注者への事前説明の際の根拠ある資料として使用可能
- 現場にあったアラートメールの基準値を設定でき、**その基準値を適用しKIYOMASA PROを運用することができる**
- 現場作業員の災害に対する意識改革のための教育教材として使用できる

調査・解析項目

現場の作業中止基準やプレサーチ導入の目的に合わせた形で解析・調査が可能です。お申込の時点で、具体的な調査内容や項目を選択・ご記入頂き、解析を実施します。

※調査地点や内容によって、調査が実施できない場合もございます。まずは、調査依頼書（申込書）にご要望を記入頂き申込をお願いします。弊社担当より、調査の可否をご連絡致します。

■大雨・豪雨対策

大雨、ゲリラ豪雨の発生頻度、過去最大雨量の解析

■強風・突風対策

強風・突風発生頻度、過去最大風速の解析

■気温調査

暑中・寒中コンクリート対策、熱中症対策

■周辺環境対策

粉じん飛散解析

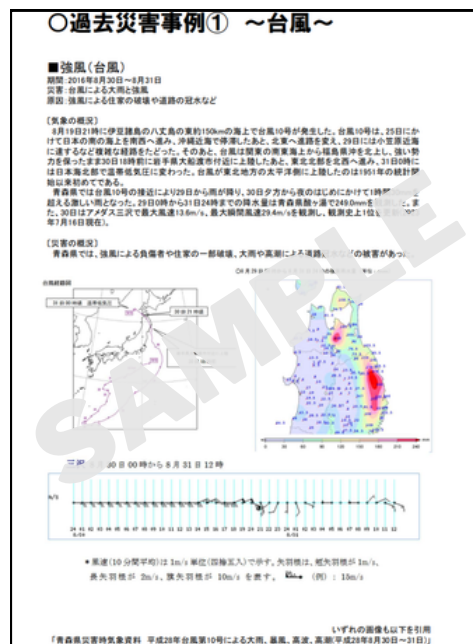
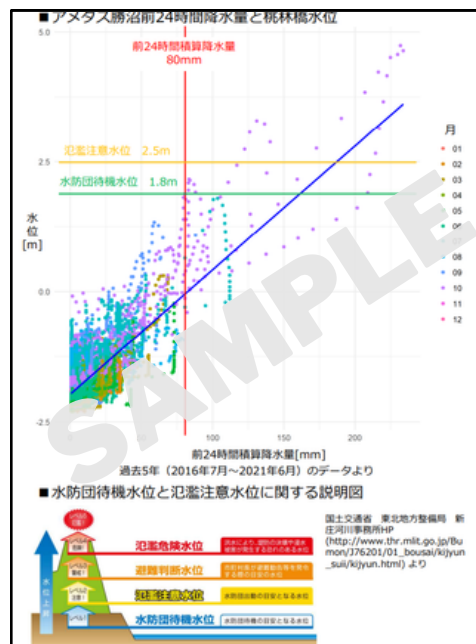
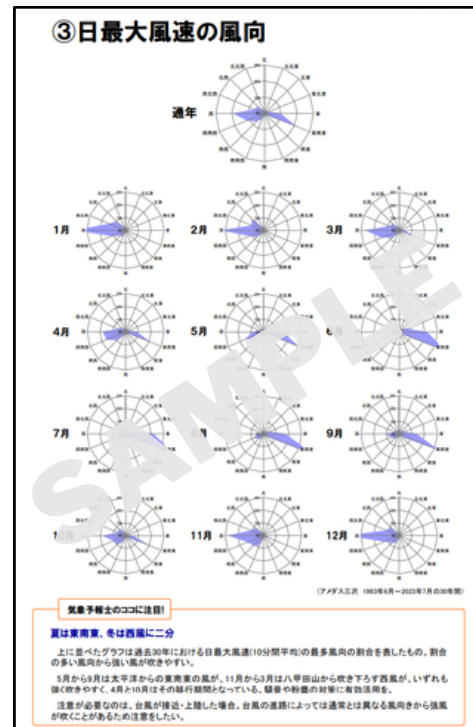
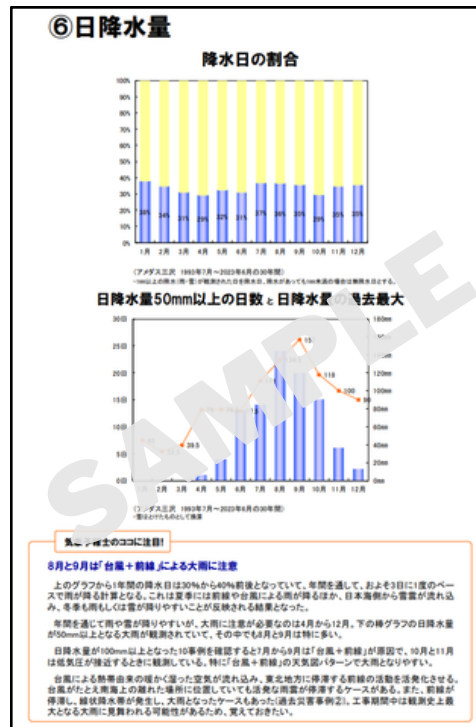
■過去災害事例調査

豪雨・洪水・河川氾濫・土砂災害・大雪・台風・竜巻

■河川水位と降水の相関関係調査

過去の河川水位から作業中止基準の降水量を解析

調査レポート例



申込からレポート納品までの流れ

申込書をホームページからダウンロードし記入



記入済みの申し込み書を
kiyomasa@griffy.co.jp
まで送付



内容確認と
受付完了の
ご連絡

7～10
営業日

調査完了
レポートの
送付

KIYOMASA PROとは

安全建設気象モバイル『KIYOMASA』を導入頂いた現場の皆様の声をもとに、機能や画面を使いやすいようフルリニューアルしたサービスです。

建設現場に特化した気象予測や作業可否判断の手助けとなる通知を生かし、荒天による労働災害リスク、機材損失リスク、工程管理・品質管理リスクといった、あらゆるリスクを事前に知らせ、回避できるよう支援します。

工種は問わず、様々な現場で、安全性や施工性の向上、周辺環境への配慮が期待できます。

活用メリット・現場で採用される理由

◆現場専用開発された気象コンテンツ

KIYOMASA PROでは、8,000現場以上の導入実績を持ち、土木工事、建築工事を熟知した気象会社だからこそ開発できた建設現場専用の気象コンテンツを提供しています。

例えば、河川や橋梁工事など上流の大雨が懸念される現場では、上流域の豪雨監視を行えます。また、高度600mまでの高度別の風速予測や風向監視アラートによりクレーンなどの機材の転倒対策、粉じん飛散対策が可能です。地震情報では、現場と近傍の震度計までの距離や震度を表示し、現場点検に活かします。

◆作業可否判断時の対応策を記入できるアラート
KIYOMASA PROには、アラート機能が搭載されています。しきい値基準と共にその基準に達した時の現場の対応策を記入しておけば、アラート発信時に自動で通知することができます。

大雨や強風など、悪天候で作業を中止した時の対応策が配信できますので、対応に慌てることなく若手作業員でも対応にあたることができます。

◆気象のプロが基準値の設定もアドバイス

予測地点を登録する際の地点の取り方や、アラートのしきい値などの相談・アドバイスも気象のプロがお受け致します。



KIYOMASA PRO概要図

機能と特徴

安全管理・工程管理の判断材料となる情報を提供しています。

例えば、作業中止基準を超える予想が出ているか瞬時に判断できる「作業可否判断ボード」
高所の作業時に活用できる「高度別風速予測」、熱中症による労働災害予防のための
「熱中症危険度予測」、その他、現場のためのコンテンツを多数搭載しています。

作業可否判断ボード

中止基準を超える予報が
意思決定の材料に



高度別の風速

地上から600mまで
10mごとの風速を予測

クレーン作業の可否判断や
足場の倒壊対策に



熱中症危険度予測

WBGT値と危険度を
現場ピンポイントで予測



コンテンツ一覧表

カテゴリ	コンテンツ名	アラート
予測	雨雲・雪雲レーダー	○
	雷危険度・マップ	○
	竜巻危険度・マップ	○
	現場ピンポイント予報 (天気・気温・降水量・風向風速・湿度)	○
	高度別風速予測	—
	WBGT熱中症危険度予報	—
	ヒヤリハット予報	—
	週間天気予報	—
	沿岸波浪予測	—

カテゴリ	コンテンツ名	アラート
観測	アメダス気象観測 (降水・風)	○
	河川水位観測情報	○
	ピンポイント地震情報	○
防災情報	特別警報・警報・注意報	○
	台風情報・進路図	—
	津波情報	○
	防災情報解説 (全国・地方・都道府県)	—

※2026年7月現在

コンテンツ詳細

雨・雪

大雨
49.1 mm

強風
7.7 m/s

大雪
なし

地震
なし

時別天気

5分天気

上空風速

沿岸波浪

時刻	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
天気						
降水(mm)	6.5	8.3	10.4	7.0	6.8	4.5
24h積算(mm)	49.2	42.7	34.5	24.0	17.0	10.5
気温(℃)	26.9	26.8	26.8	26.8	26.8	26.8
湿度(%)	93	93	93	93	93	93
風向	➤	➤	➤	➤	➤	➤
風速(m/s)	7.2	7.1	7.7	7.7	7.5	7.2

60分先まで5分毎の降水予測と、最大36時間先まで1時間毎の降水予測の2種類提供しています。どちらも緯度経度で指定頂いた現場ピンポイントの予測です。

予報発表時間を延長したことで、朝礼時に天気を確認する際に、翌日の夕方まで、1時間毎の現場ピンポイントの予測を把握することができるようになりました。

また、従来ランク表示（例：11~30mm）をしていましたが、小数点第1位 までの表示（例：13.5mm）に改修致しました。具体的な降水量予測がわかるため、河川内からの退避や機材撤去、シート養生での大雨対策など、より迅速に行えるようになりました。

風(地上・高所)

気象リスク管理モバイル
KIYOMASA PRO

注意報

防災

台風

地震

津波

河川水位

ホーム

レーダー

大雨
なし

強風
なし

大雪
なし

地震
なし

時別天気

5分天気

上空風速

沿岸波浪

地上100m

7日

時刻	17時	18時	19時	20時	21時	22時
平均風(m/s)	2.3	2.1	2.2	2.2	2.3	2.2

今日の熱中症情報

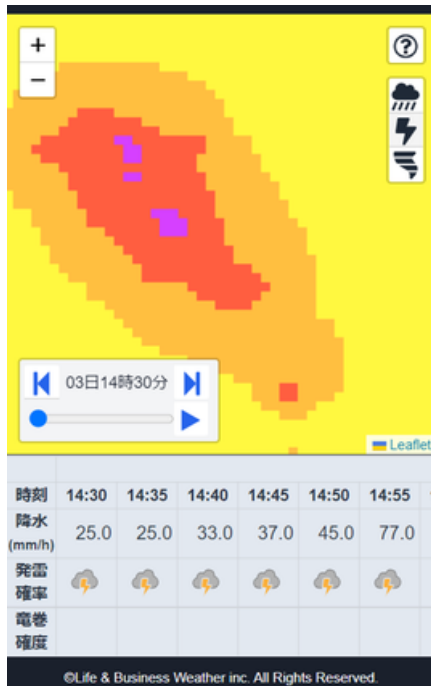
警戒

緯度経度で指定頂いたピンポイントの予測を、最大36時間先まで1時間刻みで発表します。

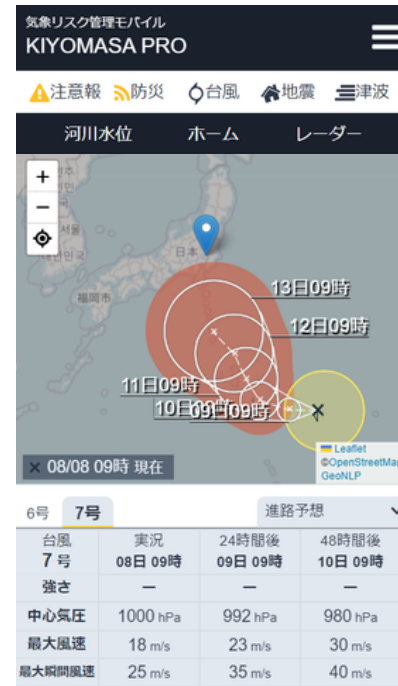
こちらも従来は整数表示（例：10m/s）でしたが、小数点第1位までの表示（例：9.4m/s）に改修致しました。また、風向についても直観的に判断できるよう、矢印で表示しています。より詳細に強風のピークタイムがわかり、高所作業の可否判断や、クレーンの転倒対策を取ることができます。

また、高所作業やクレーンの作業可否判断に役立つ、高度別風速予測も新ロジックで提供。従来は市区町村毎の予測でしたが、現場ピンポイントの予測になり、上空の大気の状態も考慮した予測に生まれ変わりました。

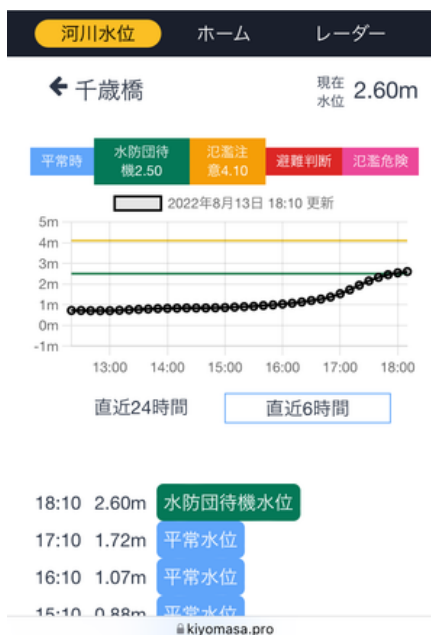
雷・竜巻



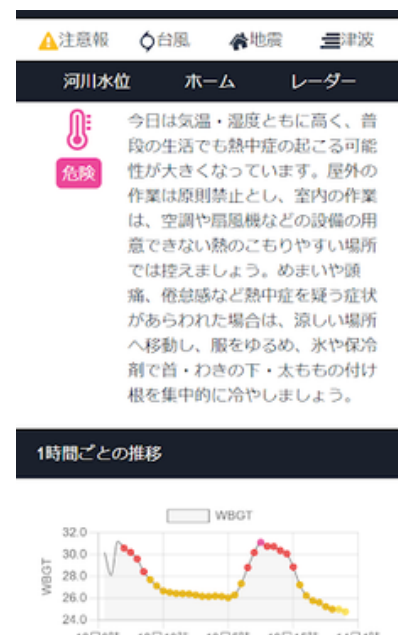
台風



水位



熱中症



現場ピンポイントの気温・湿度・風速、5kmメッシュの日射量を使って、1時間毎に最大36時間先までの暑さ指数（WBGT値）を発表します。日ごとの対応策コメントもあり

地震



約4,000地点の震度観測所で観測されている震度を表示。現場に近い観測所の震度を確認できるため、地震後の安全点検の実施判断に役立ちます。

津波



全国どこかに津波予報・津波注意報・津波警報・大津波警報が発表された場合に、表示されます。

注意報・警報



現場が所属する市区町村に発表されている注意報・警報・特別警報を表示します。今後の推移も確認でき、作業可否判断や事務所・現場での待機期間の判断に活用頂けます。

沿岸波浪予測



有義波高・最大波高・周期を、MAP上で確認できるようになりました。緯度経度を指定頂ければ、ピンポイントの波浪予測を確認することができます

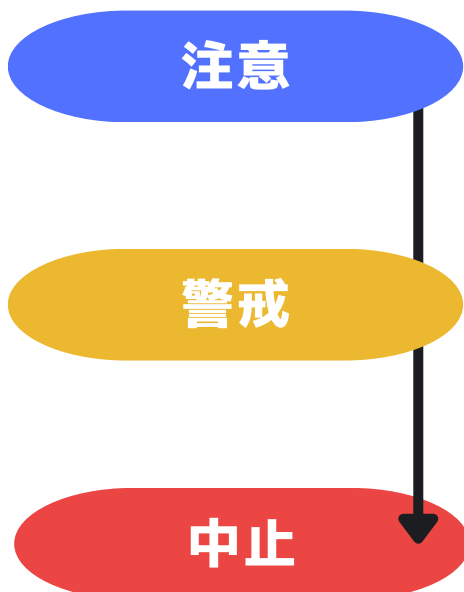
アラート通知機能



KIYOMASA PROには、基準を超える予測や観測、防災情報が発表された場合にアラートを通知する機能がついています。あらかじめ作業中止基準を設定しておけば、天気の急変時や台風・発達した低気圧の接近時など悪天候が予想される場合に、速やかにアラートが通知されます。それぞれのアラートには、対応策を付けることもできますので、現場で決められた指示事項を実行することができます。

アラート通知は、20アドレスまで。作業員の他、本社や支店の安全管理担当、発注者様も登録することができます。

段階的な注意喚起が可能に！



これまでは、1つのアラートに対して、1つの基準値しか設定できませんでしたが、段階的に複数の基準値を設定できるよう改修致しました。例えば、水位観測アラートの基準値を「注意レベル2.0m、警戒レベル3.5m、中止レベル5.0m」というように、複数を段階的に設定することが可能です。注意レベルで待機体制に入り、警戒レベルに達した段階で機材撤収準備、中止レベルの通知をもとに作業中止など、段階を踏んで管理体制を取る事が可能になります。

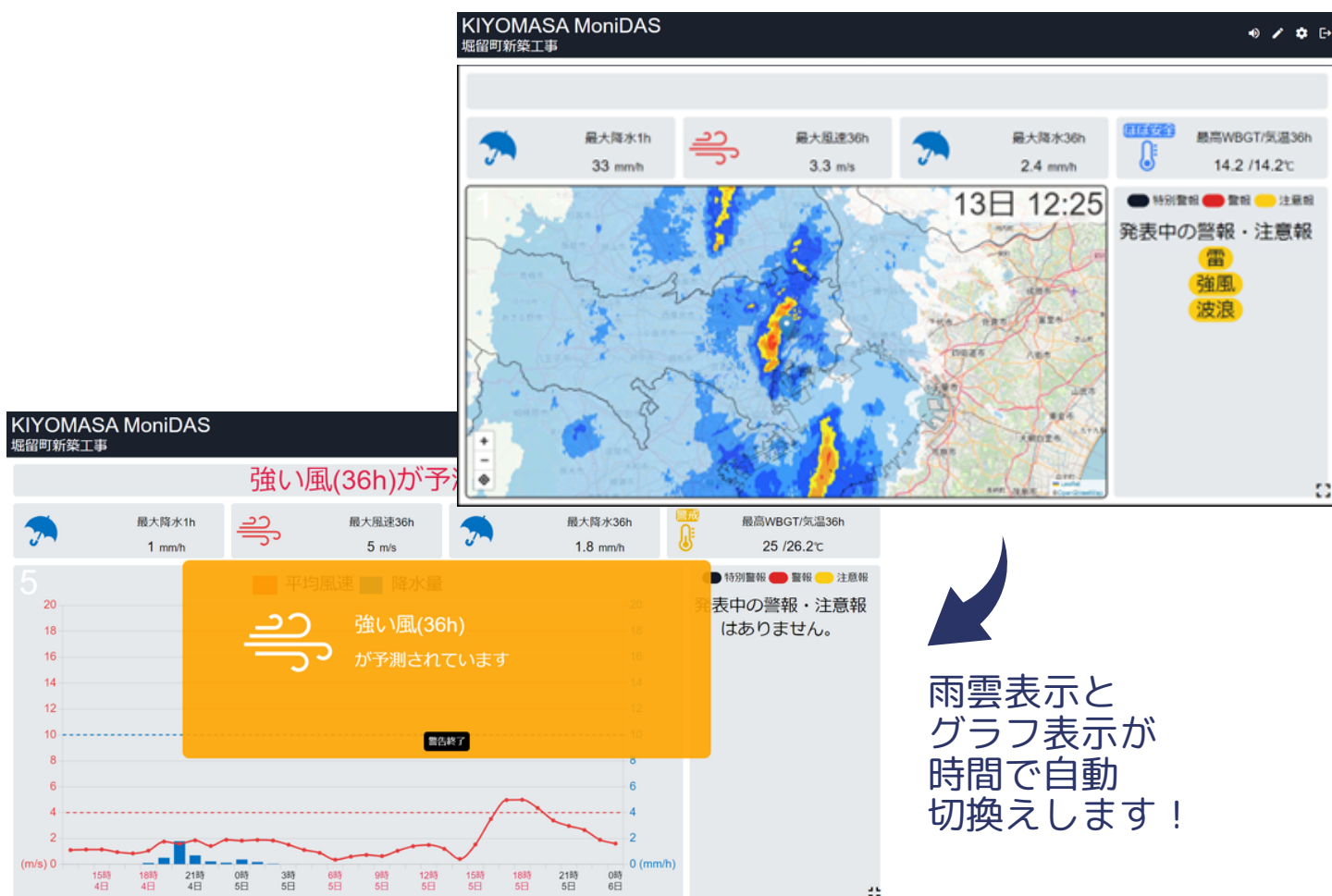
水位以外にも、現場近傍アメダスの1時間降水量、前24時間積算降水量も段階的に注意喚起することができます。

ポップアップと音で、警告ができる電子看板！

MoniDAS（モニダス）

MoniDASとは

現場ピンポイント気象情報を提供している『KIYOMASA PRO』の情報を、モニターやPCで常時表示し、基準を超える降水量や強風、WBGT値が発表された場合に、ポップアップと音声で警告を行うサービスです。



こんな現場におすすめ

- ◆モニターで常時気象・防災情報を表示させたい現場に！
- ◆天気急変・荒天アラートを多くの作業員に通知したい現場に！
- ◆周辺のお住まいの方への防災気象情報としても活用したい現場に！

機能と特徴



ポップアップで注意喚起アラート

現場の中止基準や任意の設定値を超える予想が発表された場合に、ポップアップと音声で通知が可能です。

現場事務所内や、作業場所に設置したタブレット端末で表示しておけば、瞬時に天気の急変・荒天の知らせを受け取ることができます。

通知の基準値は、現場ごとに設定できます。降水量や風速などは任意の数値を設定できるため、季節や工事進捗に合わせた運用ができます。また、危険を知らせる警告文は、現場で任意に入力することもできます。

コンテンツ一覧

気象要素	グラフ表示	警告可否
特別警報・警報・注意報		○
60分先まで 降水量予測		○
36時間先まで 1時間降水量	○	○
36時間先まで 1時間風速	○	○
36時間先まで WBGT値・気温		○

気象リスク管理モバイル「KIYOMASA PRO」（NETIS番号 KT-230016-VE）と併用して MoniDASを活用頂く事も可能です。**作業中や現場での気象・防災情報の確認やアラート機能はKIYOMASA PROで、事務所や現場の大型モニター、本社・支店のPCの常時表示&ポップアップ通知はMoniDASと、併用頂く事でより安全管理・防災対策効果が期待できます。**

任意エリアを面的に監視し、アラート通知！

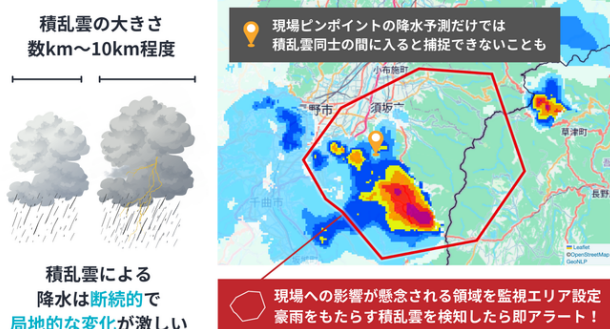
デガード

デガードとは

『KIYOMASA PRO』の予測データをもとに、任意エリア（ポリゴン）の降水量や風速、雷、竜巻などの気象要素を監視し、基準を超える予測が発表された場合にアラート通知するサービスです。

面的に監視をすることで、施工範囲全体や現場の上流域で天気急変が予想された場合にもアラート通知することができ、ピンポイントだけの監視では実現できない**より強固な安全管理が実現可能**です。

なぜ面的な監視が必要？



KIYOMASA PRO + デガード の活用で
気象リスク管理が格段にパワーアップ

短い時間に降る強い雨（ゲリラ豪雨）や雷雨をもたらす原因は、発達した積乱雲です。積乱雲は、気象の世界では比較的小さなスケールの現象で、大きさは数km～数10km。このため、1kmメッシュ予測を使って複数地点監視を行っても、予測地点の間隙で積乱雲が発生・発達してしまうと現場ピンポイントの場所を通過する場合でないと通知することができませんでした。

ピンポイント気象予測のKIYOMASA PROに、面的監視を行えるデガードをプラスすることで、ゲリラ豪雨や落雷・突風などのシビアな現象をリアルタイムに広域監視し・通知できるようになりました。

コンテンツ一覧（監視可能な気象要素）



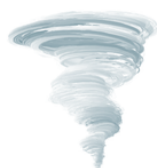
降雨・降雪



暴風・強風



発雷・落雷



竜巻・突風

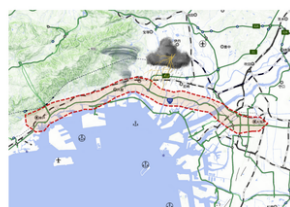
最短5分更新、最小解像度250m～1kmメッシュに対応
局地豪雨もリアルタイム監視＋注意喚起アラートを発報

- ・ 60分先までの降水量
- ・ 最大36時間先までの降水量
- ・ 60分先までの雷危険度
- ・ 60分先までの
竜巻/突風危険度
- ・ 最大36時間先までの平均風速

活用シーン

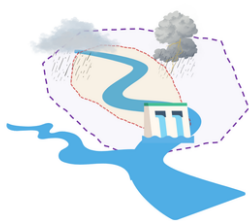
多角形ポリゴンでガード

道路/鉄道工事区間を囲む



降水や強風状況で作業可否判断

ダム集水域を囲む



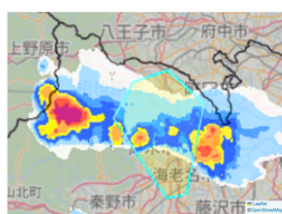
集水域の降水をリアルタイム監視

河川流域を囲む



本流や支流の流域を監視

下水道管理も多角形で



任意ポリゴンで広域気象監視
(地図は国土地理院地図より)

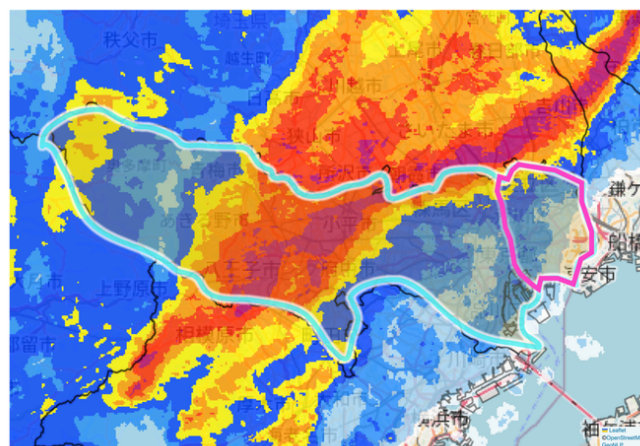
道路や鉄道工事では工事区間に沿って監視エリアを設定して、降水や強風による作業可否判断ができます。ダムや河川工事では、分水嶺や集水域を囲ったり、現場の周辺地域を監視エリアとして設定したりすることで、気象災害リスクのリアルタイム自動監視が可能です。監視エリア内で、予め設定したしきい値以上の降水量や風速、雷や竜巻危険度を検知した場合に注意喚起アラートを発報します。

行政界でガード

市区町村（複数の市区町村をまとめることも可能）や都道府県といった行政界で監視エリアを定めることもできます。

例えば、警報・注意報の発表地域とあわせて、そのエリアの豪雨や強風を監視するといったことが可能です。

警報や注意報よりも、より厳しい基準値でアラートを受信し、早期に対策や行動につなげたいといった現場ニーズに対応できます。



東京都と23区東部を監視エリアとして設定したイメージ
監視エリアごとに気象データやアラート基準値の個別設定が可能

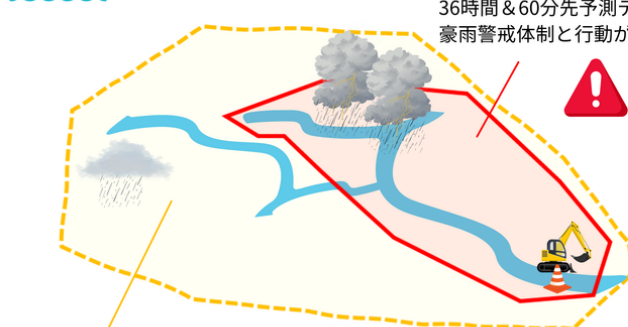
段階を踏んでガード

監視エリアを複数設定することもでき、監視エリアごとに対象となる気象データを別々に設定したり、同じ気象要素でも、閾値（アラート基準値）を段階的に設定したりすることが可能です。これにより、気象災害リスクの接近を段階的に注意喚起することができ、より事前に対策を講じることができます。

例えば、河川水位に関わる降水監視では、第一監視エリアとして広域の集水域を登録し、最大36時間先の降水予測の基準値を「エリア内で20mm/h以上の降水量が予測された時」に登録。第二監視エリアとしてより現場に近い流域を設定し、最大36時間先の予測と60分先の雨量予測の基準値で「エリア内で50mm/h以上」とし、面的にも・基準的にも段階を踏んで監視ができ、アラートを受信することもできます。

河川水位に関わる段階的な降水監視の例

36時間&60分先予測データ監視
豪雨警戒体制と行動が図れる



広域の集水域を36時間先予測データで監視
水の流れ込みリスクに早期から備える

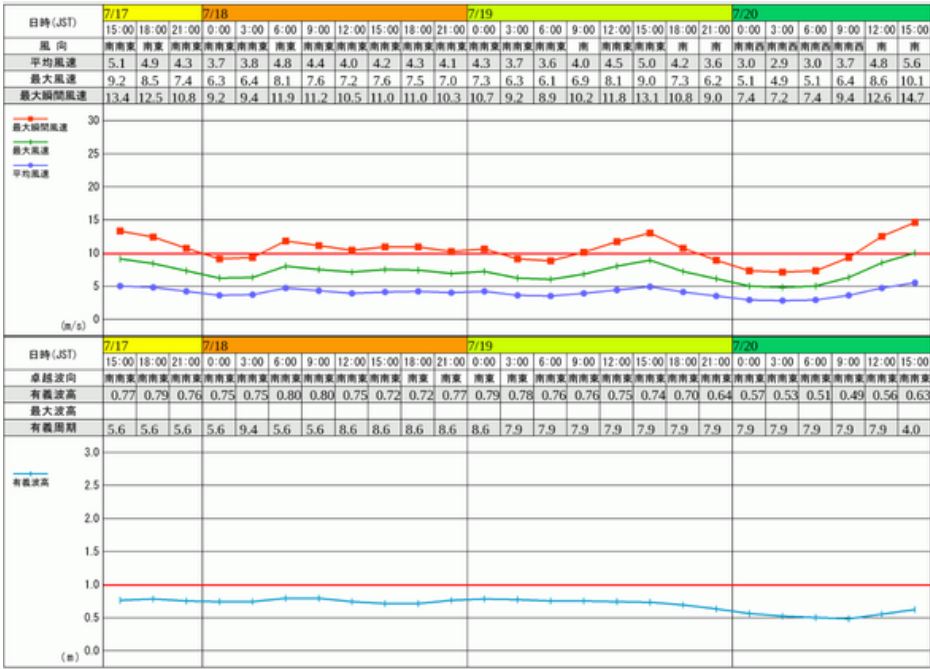
- 第一監視（注意）エリア 36時間先降水量20mm/h
- 第二監視（警戒）エリア 36時間/60分先降水量50mm/h

KAIHOとは

「KAIHO」は、海洋工事現場向けに作られた安全管理・工程管理用の海上防災気象サービスです。これまで約100現場の全国の海洋工事現場で導入実績があります。 ※2026年7月現在

任意の緯度経度の地点の波浪予測は、最大192時間（8日）先まで発表。有義波高、波向、周期のグラフも提供します。また、日本沿岸域の波浪予測マップや週間予想天気図など、海洋工事に必要な情報を搭載し、作業可否判断をサポート致します。

▼沿岸波浪予測グラフ（有義波高、波向、周期）

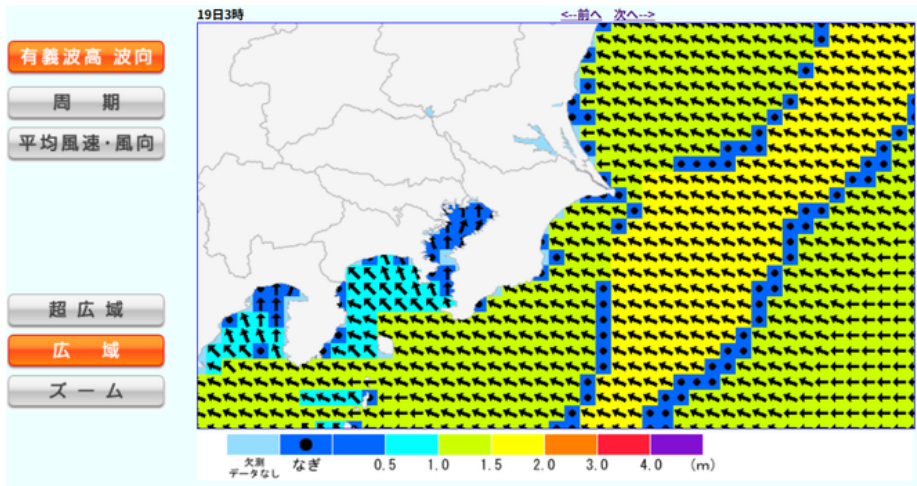


波と風の推移を、グラフとマップで、最大192時間先まで確認することができます。

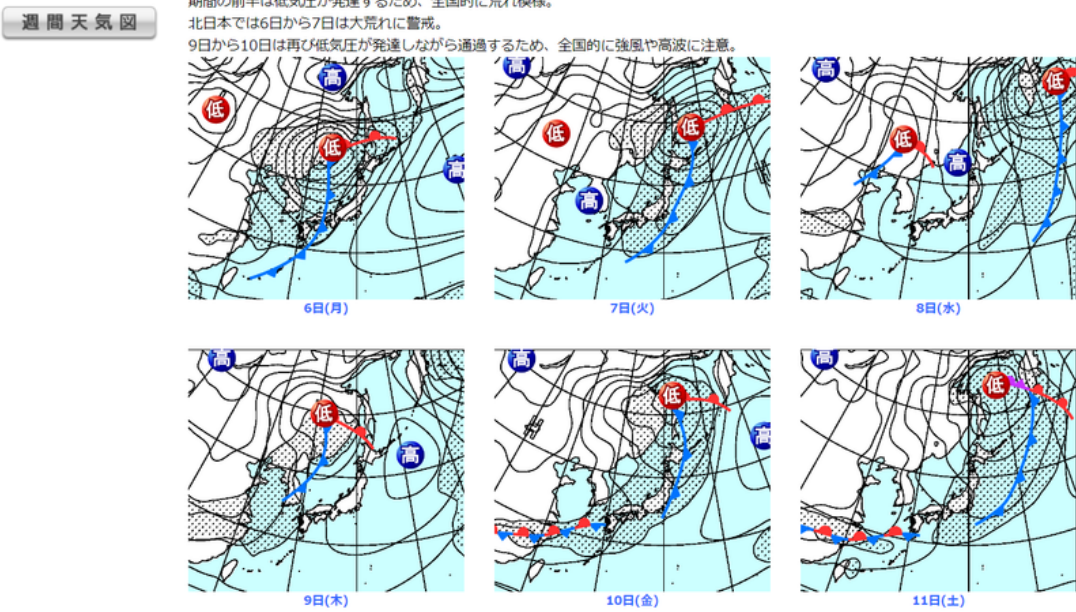
グラフには現場の基準値（赤線）が表示され、作業中止判断を支援します。

施工箇所その他、船の出港場所など最大で3地点まで緯度経度を登録し、予測の閲覧とアラート通知を受け取ることができます。

▼最大192時間先 波浪予測マップ（有義波高・波向、周期）



▼週間天気図



▼海上警報・海上予報

東京		北海道	
海上警報		濃霧	
海上予報			
		今日	明日
風	南西 20ノット(10メートル) 後 北西 20ノット(10メートル)	風	北西 15ノット(8メートル)
天気	曇時々晴 所により霧	天気	曇
視程	3海里(5海里) 所により0.3海里以下(0.5キロ以下)	視程	3海里(6キロ)
波	2メートル 後 1.5メートル	波	1.5メートル

更新時間に5分30分、10分30分

コンテンツ一覧

カテゴリ	コンテンツ名	アラート
予測	60分先雨雲・雪雲レーダー	—
	60分先雷危険度・マップ	○
	60分先竜巻危険度・マップ	○
	24時間先ピンポイント予報 (天気・気温・降水量・風向風速)	○
	高度別風速予測	—
	WBGT熱中症危険度予報	—
	海上予報	—
	72時間先波浪グラフ・マップ (有義波高・波向・周期)	○
	192時間先波浪グラフ・マップ (有義波高・波向・周期)	—
カテゴリ	コンテンツ名	アラート
観測	地震情報	○
防災情報	特別警報・警報・注意報	○
	海上警報	○
	台風情報・進路図	—
	津波情報	○
	防災情報解説 (全国・地方・都道府県)	—
天気図	実況天気図	—
	予想天気図	—
	週間天気図	—

粉じん飛散予測システム

TOBASAN

TOBASANとは

粉じん飛散予測システム「TOBASAN」は、気象リスク管理モバイル「KIYOMASA PRO」で使用する1kmメッシュの高精度気象データを用いて、掘削や解体などにより発生した粉じんの飛散量や飛散方向を10mメッシュごとに予測し、現場の効果的な粉じん対策を支援するシステムです。

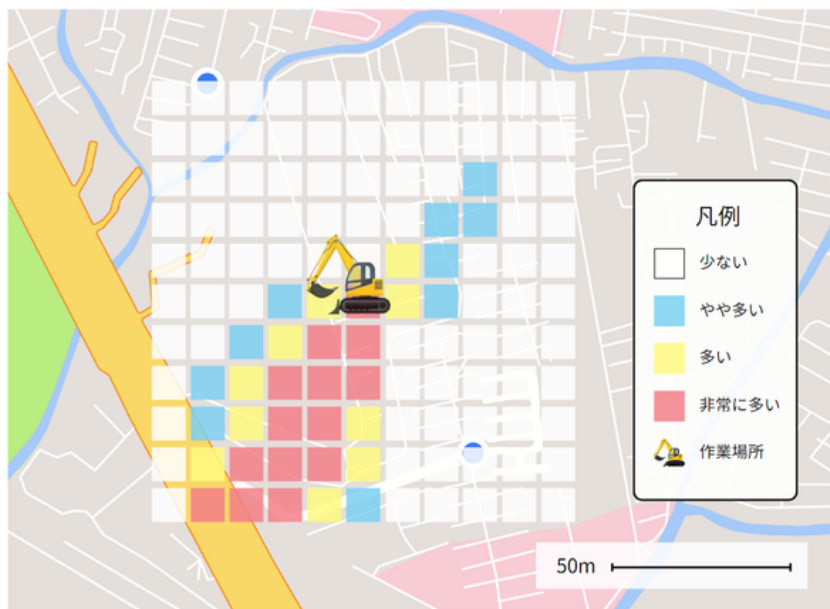
予測手法

大気の安定度や土壌の湿り具合を考慮し、もし散水しなかった場合に、粉じんがどこまで飛散するかを「道路環境影響評価の技術手法 2007改訂版 第2巻」に示された予測式などに基づき、「非常に多い」「多い」「やや多い」「少ない」の4段階で1時間ごとに予測します。

工種は、掘削工、法面工、地盤改良工など22種類の工法から現場作業に合ったものをお選び頂きます。更新頻度は、1日2回（午前・午後1回ずつ）で、現場指定の任意の時刻に更新可能。
※午前は発表当日、午後は翌日の予測を発表

特徴

▼画面イメージ



時刻	飛散注意方向	風向	風速(m/s)	天気	降水量(mm)
10/20 9:00	東北東	西北西	1.2	くもり	0
10/20 10:00	南	北	1.6	晴れ	0
10/20 11:00	南南西	北北東	2.5	晴れ	0
10/20 12:00	南南西	北北東	2.9	薄曇	0
10/20 13:00	南南西	北北東	3.5	薄曇	0
10/20 14:00	南南西	北北東	3.8	くもり	0
10/20 15:00	南南西	北北東	4.0	雨	2
10/20 16:00	南南西	北北東	3.6	雨	1

◆**周辺環境対策に！**
予測結果をは1時間刻みで確認できるため、粉じん飛散が予測されている方角や飛散に注意が必要な時間帯が一目でわかります。近隣に田畑や茶畑、住宅地がある現場での粉じん飛散対策を検討する場合に効果的です。

マップの下部には、粉じん飛散に係わるピンポイント気象予測も掲載しています。

◆**作業員の意識向上に！**
朝礼や昼礼時に、飛散量や飛散方向を確認することで、作業員の意識づけ・意識向上に役立ちます。

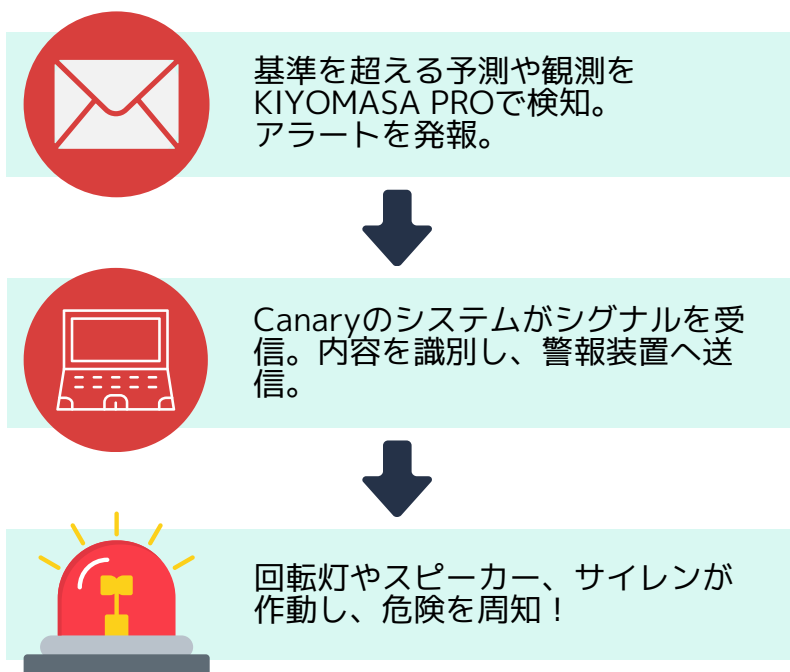
利用方法

◆専用URLに、ID・パスワードでアクセスするだけ

Canaryとは

自動音声システムとKIYOMASA PROのコラボレーション商品です。KIYOMASA PROの現場ピンポイント予測をもとに、豪雨や落雷・突風などの気象災害シグナルが発信され、現場に設置されているサイレンやスピーカー、回転灯を作動させて**作業員へ音声や光で危険を通知**します。

配信概要



活用メリット

- ◆ 音声や光で、現場にゲリラ豪雨や強風、地震・津波などの危険を確実に伝達します。
- ◆ メール受信エラーなどの不具合による伝達ロスを防ぎます。
- ◆ 作業員全員に瞬時に危険を通知できます。

通知可能なシグナル

- | | | |
|---------------|---------------|---------------------|
| ・ 60分先豪雨予測 | ・ 最大36時間先豪雨予測 | ・ 注意報/警報/特別警報 |
| ・ 60分先雷予測 | ・ 最大36時間先風速予測 | ・ 水位観測 |
| ・ 60分先竜巻危険度予測 | ・ 36時間先積算降水予測 | ・ アメダス降水/強風観測 etc.. |

異常気象や悪天候の作業中止を記録で証明

エビデンス帳票出力サービス

エビデンス帳票出力サービスとは

建設リスク管理モバイル「KIYOMASA PRO」で登録している現場(緯度経度レベル1kmメッシュ等)において、過去に発表されていた気象予測データや解析値を、後日CSV形式のデータとしてダウンロードできる、有料オプションです。

※エビデンス帳票出力サービスの利用には、KIYOMASA PROの契約が必要です。

リクエスト可能なデータ

カテゴリ	気象要素名
アメダス観測値 10分値・1時間値	気温
	降水量
	風向・風速
	日照時間

ピンポイント予測 1時間・3時間値	天気
	気温
	降水量
	風向・風速
	高度別風速
	熱中症危険度
	ヒヤリハット
	沿岸波浪予測

カテゴリ	気象要素名
防災情報	注意報・警報
	地方防災情報
	府県防災情報
	地震情報
	津波情報

解析値 ※	気温
	降水量
	風向・風速
	雷危険度
	竜巻発生確度

※解析値とは、実際に気象を観測するアメダスに加え、面的な広範囲を観測できる気象レーダー・衛星画像、そして地表面の土地利用や植生などをもとに、当社が独自に解析して得られた実況(観測データ)に近い値のことです。

活用メリット

- ◆現場中止判断や工期延長等の根拠をもった説明資料に！
- ◆コンクリート打設時や異常気象発生時のデータ保管に！
- ◆技術提案の履行証明のための発注者への提出資料に！



表計算ソフトで
グラフや
表の作成が可能

技術提案テーマ別サービス紹介

突発的な天候変化への対応

→気象リスク管理モバイル「KIYOMASA PRO」

1kmメッシュというきめの細かい予測と、最短5分更新のリアルタイム予測により突発的に発達した雨雲・雷雲も予測へ反映可能。補足が難しいと言われているゲリラ豪雨や落雷・突風の危険度を現場へアラート通知することができます。

異常出水対策・下水道安全対策

→気象リスク管理モバイル「KIYOMASA PRO」

現場を含めて最大5地点まで、5分刻みで60分先までの降水予測を配信可能。予測はmm単位で客観的に表示しています。河川工事の現場では、河川上流の降水をいち早く知ることができ、突発的な豪雨による水位増加対策にお役立て頂いています。

施工時における地震対策

→気象リスク管理モバイル「KIYOMASA PRO」

現場近傍で地震を観測した場合にメールで通知が可能。震度3や震度4以上の地震が発生した際に、発注者や現場責任者への連絡を義務づけられている現場様へ好評を頂いているアラートです。配信基準は、震度1から震度7までお選び頂けます。

周辺への粉じん飛散対策

→気象リスク管理モバイル「KIYOMASA PRO」+粉じん飛散予測システム「TOBASAN」

TOBASANの現場ピンポイント予測を用いて、粉じんの飛散方向や飛びやすさを表示。予測は、時系列で粉じんの飛びやすさを示した表形式と方位ごとに飛びやすさを示した地図形式の2パターンあり、午前・午後の2回更新。現場の掲示板へ掲載したり・ディスプレイで表示したりと周辺へ見せる対策としても利用可能。

高波・高潮・津波対策

→「KAIHO」

高波対策には72時間先までの予測グラフを確認。最大192時間先までの波高・波向・周期の傾向を視覚的に把握することも可能です。高潮対策は、高潮警報・注意報発表・解除時にメールを受け取れます。津波対策には、津波警報・津波注意報が発表された場合に、即座にアラートで通知を受け取ることができます。

その他のテーマ別サービス紹介やお悩み別Q&Aは、建設気象PROホームページに掲載しています

価格表

気象リスク管理モバイル「KIYOMASA PRO」

・・・p.6～11掲載

初期費用	月額利用料
30,000円	12,000円

有料コンテンツ（月額利用料に加算されます）

エビデンス帳票出力サービス

月額利用料
5,000円

・・・p.20掲載

MoniDAS

・・・p.12～13掲載

KIYOMASA PROとセットで利用する場合

初期費用	月額利用料
20,000円	8,000円

※別途KIYOMASA PRPの初期費用・月額利用料がかかります

MoniDASのみで利用する場合

初期費用	月額利用料
50,000円	15,000円

デガード

・・・p.14～15掲載

KIYOMASA PROとセットで利用する場合

初期費用	月額利用料
20,000円	3監視エリアまで9,000円 5監視エリアまで13,000円

※以降、1 監視エリア追加するごとに月額利用料は+1,000円加算されます

※別途KIYOMASA PRPの初期費用・月額利用料がかかります

KAIHO

・・・p.16～17掲載

初期費用	月額利用料
30,000円	50,000円

※本カタログに記載している価格には消費税が含まれておりません。

粉じん飛散予測システム「TOBASAN」

・・・p.18～19掲載

初期費用	月額利用料
30,000円	8,000円

災害リスク事前調査「ハザード・プレサーチ」

・・・p.4～5掲載

◆成功報酬プラン

（初期費用を頂きレポートを納品。工事を入札した場合に報酬金額をご請求します）

・フルパッケージ

（降水量・風速・気温・過去の災害事例などすべての調査を実施するコース）

初期費用	成功報酬金額
20,000円	180,000円

・災害調査のみ

初期費用	成功報酬金額
12,000円	108,000円

・降水量のみ

初期費用	成功報酬金額
8,000円	72,000円

・風速のみ

初期費用	成功報酬金額
8,000円	72,000円

・気温のみ

初期費用	成功報酬金額
6,000円	54,000円

・降水量+河川水位

初期費用	成功報酬金額
26,000円	234,000円

◆一括支払いプラン

（レポート納品後、一括でお支払頂くプランです。成功報酬型よりリーズナブルな価格設定となっています。）

・フルパッケージ

（降水量・風速・気温・過去の災害事例などすべての調査を実施するコース）

初期費用	成功報酬金額
130,000円	なし

・災害調査のみ

初期費用	成功報酬金額
80,000円	なし

・降水量のみ

初期費用	成功報酬金額
50,000円	なし

・風速のみ

初期費用	成功報酬金額
50,000円	なし

・気温のみ

初期費用	成功報酬金額
40,000円	なし

・降水量+河川水位

初期費用	成功報酬金額
180,000円	なし

気象注意喚起伝達システム「canary」

・・・p.19掲載

機材の設置状況と必要機材をお伺いし、見積書を提出させていただきます。
見積依頼の旨を弊社までご連絡下さい。

※本カタログに記載している価格には消費税が含まれておりません。

気象庁予報業務許可 第248号

株式会社GRIFFY

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-12-6

内神田OSビル 7F

TEL:03-6206-4337（気象部直通）

<https://kensetsu.lbw.jp>

